



◀各教室は採光や眺望が考慮され開放的な造りとなっています（写真左：前田小、右：前田保育園）



◀広々とした多目的スペース。隣は図書室



◀広々とした遊戯室で元気いっぱい遊ぶ園児



▲前田児童クラブ



▲開放的な乳児室
◀いろんな本がある図書コーナー



前田小学校・前田保育園の新校舎新園舎が完成

小学校・保育園・児童クラブの一体型施設

昨年10月から森吉地区・阿仁前田で建設工事が進められていた前田小学校、前田保育園及び前田児童クラブがこのほど完成し、10月14日、隣接する前田体育館で竣工式が行われました。

建物は、小学校・保育園・児童クラブの一体型施設として建設されたもので、式には、前田小学校の児童、地域住民、市の関係者ら約300人が出席、式典とアトラクションで完成を喜び合いました。

前田小学校の現校舎は、昭和38年10月、中央ホールと6つの教室が直結している独特の構造の全国でも珍しい円形校舎として建設され、児童や地域住民に親しまれながら利用されてきました。

しかし、老朽化による痛みが激しくなったことから旧森吉町では平成11年に改築を計画、その後、同様に老朽化で大規模改修の必要があった前田保育園（昭和51年建設）との合築とすることに計画が見直されました。

加えて、空き教室を利用した子育て支援活動として「放課後児童クラブ」の要請もあり、これらを一

体的に建築する方向で再度計画の見直しが行われ、新市誕生後の昨年10月から2カ年事業で建設が始まり、このたびの竣工を迎えたものです。



竣工記念アトラクションで校歌を歌う前田小児童

澤俊明校長、児童数125人の三澤校長がお礼を述べた後、児童代表の菅原千絵美さん（6年）が「わたしたち自慢の円形校舎・前田小学校は長い間多くの人々を温かく見守ってきてくれた。いま、別れのときがきたけれど、たくさんの思い出が心の中に詰まっています。新しい学校は、広い四角い教室に大きな黒板で新鮮な気持ちがいっぱいに広がる。すばらしい校舎だから、これまでの思い出を大切に大きな夢を持って羽ばたいていきたい」とあいさつしました。

アトラクションでは、児童たちが校歌を踊り、また、前田保育園（園児数37人）の園児がスキッチダンスなどを披露し、待望の新校舎、園舎の完成を喜び合いました。



旧前田小学校

式典では岸部市長が「地域の象徴として親しまれ、全国的にもその存在を知られてきた現校舎に、別れを告げることは寂しい思いだが、保育園と併せた児童の教育施設・機能の充実を目指した事業の完成をみて喜ばしい限り。地域のシンボルとして愛され、これからの新しい子育ての拠点として発展されることを祈念する」と述べ、子どもたちの健やかな成長と学校の発展に期待を寄せました。

このあと竣工記念アトラクションが行われ、はじめに前田小学校（三

阿仁合保育園竣工式・開園セレモニー



阿仁合保育園の竣工式が10月23日、阿仁保健福祉センターを改築した同園で行われました。開園セレモニーでは、梅村園長が「新しい保育園でつかい保育園みんな楽しく遊びましよう」と挨拶し、来賓や父母等とともに開園を喜び合いました。

また「うれしいな 僕たち私たちの新しい保育園、ひまわり組、ゆり組、すみれ組、たんぼ組、ちゅうりつ組、みんな仲良く遊びます」と全園児がお礼の言葉を述べ、アトラクションでは年長児による保育園の竣工を祝い、お遊戯「波動」を元気一杯に披露し、出席者から大きな拍手が送られていました。

園児たちは、明るく新しい保育室でお友達と仲良く話したり、広くなった遊戯室で思いっきり動き回り全身で喜びを表現していました。